

- 星空保護区認定制度とは

国際ダークスカイ協会が 2001 年に始めた「ダークスカイプレイス・プログラム」(和名：星空保護区認定制度)は、光害の影響のない、暗く美しい夜空を保護・保存するための優れた取り組みを称える認定制度です。認定には、夜空の暗さ(星空の美しさ)だけでなく、屋外照明に関する厳格な基準や、地域における光害に関する教育啓発活動などが求められます。

国際ダークスカイ協会のページ(英語)：<https://www.darksky.org/our-work/conservation/idsp/>

国際ダークスカイ協会東京支部による解説ページ(日本語)：<https://idatokyo.org/hogoku>

星空保護推進機構による専用サイト：<https://hoshizorahogoku.org/>

✓ 単に「星が綺麗に見える」ことだけを評価する認定制度ではありません。星空保護・光害対策に関する地域の理解と取り組みが、認定に不可欠な要素となっています。

- 星空保護区のカテゴリー

現在、5つのカテゴリーがあります。(加えて、新規申請受付を終了したカテゴリーが1つあります。)全てのカテゴリーの認定地を総称して、国内では「星空保護区」と表記しています。

1. ダークスカイ・コミュニティ(2020年12月1日現在、世界で29ヶ所認定)
2. ダークスカイ・パーク(同、85ヶ所(神津島を含む))
3. ダークスカイ・リザーブ(同、16ヶ所)
4. ダークスカイ・サンクチュアリ(同、13ヶ所)
5. アーバン・ナイトスカイプレイス(同、2ヶ所)
6. (新規受付終了)ダークスカイ・ディベロップメント(同、5ヶ所)

(2020年12月1日現在、世界で計150ヶ所)

申請カテゴリーは、地域の管轄・周辺状況により異なります。

カテゴリーの詳細は <https://idatokyo.org/hogoku#categories>

- 国際ダークスカイ協会(IDA)とは

国際ダークスカイ協会(IDA: International Dark-Sky Association)は、光害問題に対する取り組みで先導的な役割を担う組織として、世界中で広く認知されています。1988年に米国で設立され、アリゾナ州ツーソンにある本部と世界18ヶ国に60以上の支部(2020.9現在)を有するNPO団体です。メンバーは天文関係者を中心に、照明技術者、環境学者、教育者、法律家など多岐にわたり、光害に関する様々な活動(星空保護区認定制度のほか、フィールド調査、条例制定支援、啓発キャンペーン等)を行っています。

国際ダークスカイ協会ウェブサイト(英語)：<https://www.darksky.org/>

- 神津島の認定について

神津島は2020年12月1日付（米国アリゾナ州現地時間）でダークスカイ・パークに認定されました。日本では西表石垣国立公園（沖縄県石垣市・竹富町、2018年3月30日認定、ダークスカイ・パーク）に続き2番目の認定となります。アジアでは他に、英陽ホテルエコパーク（韓国、2015年認定、ダークスカイ・パーク）、合歓山（台湾、2019年認定、ダークスカイ・パーク）が認定されており、神津島はアジアで4番目の認定となります。神津島の認定カテゴリーはダークスカイ・パークですが、特別な呼称として「ダークスカイ・アイランド」を使用することがIDAにより認められました。

（参考）西表石垣国立公園の認定時のプレスリリース：<https://idatokyo.org/1198/>

- 神津島のこれまでの取り組みについて

2020年1月1日 星空保護区申請を見据え、神津島村が「神津島村の星空公園条例」「神津島村の美しい星空を守る光害防止条例」を施行

2020年1月23日 神津島村が、星空保護区認定を目指すことを正式に表明  
村プレスリリース <https://vill.kouzushima.tokyo.jp/blog/2020/01/post-456.html>  
参考ページ（IDA 東京） <https://idatokyo.org/1434/>

2020年5月以降 島内の道路灯・防犯灯を、光害対策型に大規模改修  
参考ページ（IDA 東京） <https://idatokyo.org/1577/>

2020年7月27日 東京都知事より神津島村に「賛同書」が手渡される  
知事の部屋 [https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/governor/governor/katsudo/2020/07/27\\_00.html](https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/governor/governor/katsudo/2020/07/27_00.html)  
参考ページ（IDA 東京） <https://idatokyo.org/1484/>

2020年8月24日 IDAに星空保護区申請書を提出、申請完了  
村プレスリリース <https://vill.kouzushima.tokyo.jp/blog/2020/08/npo.html>  
参考ページ（IDA 東京） <https://idatokyo.org/1495/>  
参考ページ（星空保護推進機構） <https://hoshizorahogoku.org/2020/08/25/post-312/>

- ダークスカイ・パークの主な認定条件

1. 夜空の暗さの測定値が、基準値（21.2 mag/arcsec<sup>2</sup>）をクリアすること
  2. エリア内の公的な屋外照明について、光害対策基準（上方光束ゼロ%、相関色温度3000K以下）を定めた照明管理計画が発効されており、申請時に既存の屋外照明の67%以上が同基準に準拠していること（認定後10年以内に100%準拠させること）
  3. 光害に関する教育プログラムやイベントが定期的に行われていること
- など。神津島の星空保護区申請書の冒頭に書かれたサマリーでは、これらの基準を満たしていることが説明されています（最終ページに添付）。

- 国内の星空保護区を目指す動きについて

現在、星空保護区申請を目指して取り組みを進めている地域は複数ありますが、公式に表明しているのは以下の2自治体です。

1. 岡山県井原市（美星町地区）ダークスカイ・コミュニティに2020年度内申請を目指す  
参考ページ（IDA 東京）<https://idatokyo.org/tag/%e7%be%8e%e6%98%9f%e7%94%ba/>
2. 福井県大野市（南六呂師地区）アーバン・ナイトスカイプレイスに2023年度内申請を目指す  
参考ページ（IDA 東京）<https://idatokyo.org/tag/%e5%a4%a7%e9%87%8e%e5%b8%82/>

- 光害（ひかりがい）とは

過剰または不適切な人工照明の使用により、周囲にさまざまな悪影響が及んでいる状況のことです。具体的には、以下のような悪影響が挙げられます。

1. 夜空が明るくなり、星が見えにくくなる
2. 生態系への悪影響（特に夜行性生物、昆虫、鳥類、イネなど）
3. 人間生活への悪影響（まぶしさ、迷惑光、交通への影響など）
4. 人体の健康への影響（体内時計の乱れ）
5. エネルギーの浪費

- 国際ダークスカイ協会東京支部への取材申し込み・問い合わせ

まず [ochi@idatokyo.org](mailto:ochi@idatokyo.org) までご連絡ください。

## 神津島 星空保護区申請書のサマリー

国際ダークスカイ協会(IDA)に提出された申請書の冒頭に書かれたサマリーの日本語訳です。

- **位置**：東京都神津島村に属する神津島は、面積 18.58km<sup>2</sup>の小さな島であり、都心部から南へ約 180km に位置し、人口およそ 2000 人である。周囲に大きな都市は存在しない。都心からは飛行機で 30 分、ジェット船で 4 時間で到着できる。
- **屋外照明管理計画 (LMP)**：星空保護区の認定に必要な屋外照明要件（上方光束 0%、色温度 3000K 以下など）を全て含んだ「神津島村の美しい星空を守る光害防止条例」が、2020 年 1 月 1 日に施行された。
- **屋外照明**：島内にはおよそ 580 基の屋外照明があり、2020 年 5 月より、LMP に適合した屋外照明に交換する工事が始まった。8 月 21 日現在、75.3%の交換が完了しており、2023 年 3 月までに 100%完了予定である。（屋外照明の LMP 適合率の要件は、申請時に 67%以上、認定後 5 年以内に 90%、認定後 10 年以内に 100%を達成する必要がある、毎年 IDA への年次報告書の提出が求められる。）
- **夜空の質**：1 年半にわたり、島内 4 ヶ所において、夜空測定が行われた。夜空の暗さを表す数値は、全体の平均値で、21.51 mag/arcsec<sup>2</sup>（デジタル一眼レフカメラによる測定）および 21.31 mag/arcsec<sup>2</sup>（スカイクオリティメーターによる測定）であった。（星空保護区（ダークスカイ・パーク）の認定条件は、21.2 mag/arcsec<sup>2</sup>以上）
- **観察者の視界**：星空観察場所にて撮影されたパノラマ写真より、観察者の視界がまぶしい人工光源によるグレアや街明かりによる光のドームに邪魔されないことが確認された。
- **村の認識を示す文書**：2020 年 1 月 1 日、暗い夜空と動植物の保護、その適正な利用が図られることを目的に、神津島全体が「神津島村星空公園」に指定された。
- **外部団体との連携**：照明改修、暗い夜空の保護の取り組みは、東京都・岩崎電気・星空保護推進機構の 3 つの外部団体と連携して進められた。
- **教育プログラム・啓発等**：神津島観光協会が 2017 年より実施しているプロジェクト「神津島まるごとプラネタリウム」において、多くの教育プログラム、星空観察イベント、メディア展開による啓発が行われてきた。村、IDA 東京支部、星空保護推進機構による取組みも進められてきた。
- **星空保護区の特別な呼称**：神津島村では、認定が得られた場合「ダークスカイ・アイランド」の呼称を使用することを希望する。